

揺れと被害

揺れが強いと、立っていることも困難になります。

震度は、地震動の強さの程度を表すもので、震度計を用いて観測します。実際にどう揺れるかは、地震の規模（マグニチュード）だけでなく、震源からの距離や地盤条件などに左右されます。

<p>震度 4</p> <p>多くの人が驚く</p>	<p>震度 5弱</p> <p>物につかまりたいと感じる</p>	<p>震度 5強</p> <p>行動に支障を感じる</p>	<p>震度 6弱</p> <p>立っていることが困難になる</p>	<p>震度 6強 震度 7</p> <p>はわないと動くことができない</p>
----------------------------	----------------------------------	-------------------------------	-----------------------------------	---

「気象庁震度階級関連解説表」をもとに作成

緊急地震速報

**強い揺れが来る前に
テレビ、ラジオで地震をお伝えします。**

緊急地震速報とは地震の発生直後に、震源に近い地震計で震源や地震の規模（マグニチュード）を直ちに推定し、これに基づいて強い揺れの到達時刻や震度を推定し、可能な限り素早く知らせる情報です。

緊急地震速報を有効に活用するためには、適切に行動できるように「訓練」しておくことが大切です。



緊急地震速報
強い揺れが来ます！（揺れの予告）



危険回避！

災害用伝言ダイヤル

「171」で安否情報を音声により伝達します。

毎月1日は、「災害用伝言ダイヤル」を体験できます

災害用伝言ダイヤルは、大規模な災害が発生した場合に提供を開始し、被災住民の皆様の安否を伝える声の伝言板です。ご利用方法は、「171」をダイヤルし、音声ガイダンスに従って伝言の録音や再生を行います。

◎詳しくは、NTTのホームページなどを参照してください。